



9月議会報告会開催

10月23日(日)UR 団地集会室で9月議会報告会が開かれました。今議会での質問・答弁の要約は次の通りです。



平和事業の取り組みを充実させるべきです

【むとう】平和都市宣言をしている市として、平和事業の取組を充実させるべき。①戦争体験を語り継ぐ取組は②現地の平和祈念式典へ代表を送り出してはどうか③小中学校での平和教育はどのように行われているか。

【答弁】①戦時中の食事体験、平和映画の上映会(11月予定)、平和講演会も開催。市庁舎内において戦争関連パネル展を開催し、平和の横断幕を掲示している。②市政施行60周年に向けて検討する。③学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じて平和に関する教育を行っている。

【むとう】被爆国として核兵器禁止条約への批准を国に働きかけるべきと考えるが、市長の考えは。

【市長】平和を未来に繋ぐことは責務だと考える。核兵器禁止条約への批准は、国でも議論しているところであり慎重に検討する。

【むとう】被爆地を訪れ、核兵器廃絶こそ二度と使われないことを補償する唯一の方法だと確信して欲しい。



日本共産党 戸田市議会議員
むとう 葉子

高齢者世帯や生活困窮世帯にエアコン設置の助成金を

【むとう】光熱費や物価の高騰が市民生活を圧迫しています。特に新型コロナ感染対策で自宅にいる事が多くなった高齢世帯や生活困窮世帯からは「生活費のどこを削ったら良いのか」と切実な声が寄せられている。熱中症対策の一つとしてエアコン設置や買い替えに必要な費用に掛かる助成を行ってはどうか。

【答弁】経済的な理由からエアコン設置が出来ない世帯に対しては、社会福祉協議会が実施している福祉資金貸付事業を案内している。助成については、財源の問題から難しいと考える。



埼玉県—豊かな財政を市民生活に回して——埼玉県—住みよい街をつかって欲しいものです。